

校長朝礼講話（冬季休業後指導）

皆さん、「新年あけましておめでとうございます」

平成25年（2013年）巳年がスタートしました。今年は十二支でいうと”巳（み）年（へびどし）”にあたります。十二支の「巳」は植物に種子ができ始める時期と考えられ、草木の生長が極限に達して次の生命が作られ始める時期とされています。また、巳（み）年にあたる蛇（へび）は、脱皮することから「復活と再生」を連想させます。また、白蛇は古代インドにおいては、財運招福の神「弁財天」の化身といわれ白蛇が住みついた家は、金運・財運に恵まれると信じられてきました。へび（巳）を持つと「実（巳）入り」するといわれ、蛇皮の財布を持つとお金が入るとも言われています。

さて、『一年の計は元旦にあり』ということですが、自分は何をしたいのか、何をしなければならないのか、何ができるのかをよく考えて、「今年こそは」と新しい年への決意ができたでしょうか？

明日から授業が始まりますが、この時期は3年生にとっては進路決定に向けて、1・2年生は進級に向けての準備の時期であると同時に、年度という学年の締めくくりの時期でもあります。また、向島中にとっては閉校・統合という大きな節目でもあります。いよいよ残すところ3ヶ月、誰もがたくさんの良い思い出を胸に、卒業と進級、そして新たな学校への橋渡しができるように頑張りましょう。先生方もこの一年間、向島中を締めくくる意義ある一年にしよう、また、新校桜堤中学校を生徒・保護者・地域から愛されるすばらしい学校にしようと綿密な計画を立てています。

そのために、皆さんに是非とも実行してほしいことは、『他の人のために何かできないか』ということです。皆さんは、自分が困ったり苦しんでいるとき、助けられたり励まされたりした経験があると思います。皆さん一人一人が、自分から人のために何かができれば、自分がこの世の中に存在している意義を実感できますし、互いに支えあって暮らす喜びを感じることができるはずです。「人のために何かすること」が「自分自身のためになること」を心に刻み、充実した締めくくりと橋渡しができるようにがんばりましょう。